

## 市内167および168例目（県内241および242例目）の概要

令和3年1月21日公表

1月20日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名の方、市内167及び168例目（県内241及び242例目）となる感染者が確認されました。

167例目の方は、松江市在住です。年齢・性別につきましては、本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

この方は、1月14日に鼻水、鼻づまり、18日に咽頭痛、味覚・嗅覚異常の症状がありました。

166例目の濃厚接触者として、昨日20日に検査を行った結果、陽性が判明したものです。

保健所の指導の下に自宅で待機し、本日21日、感染症対策を講じた医療機関に入院しました。

現在も鼻水、味覚・嗅覚異常の症状が継続していますが、軽症とのことです。

発症日2日前、1月12日以降の感染可能期間に県外の勤務先に出勤されておりました。勤務先の調査については管轄する他自治体で実施しており、現在のところ接触者はおおむね把握できていると伺っています。

発症日2週間前、12月31日以降の調査期間において、県外の勤務先への移動歴がありました。

168例目の方は、県外（緊急事態宣言が発令されている都府県）在住です。年齢・性別につきましては、本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

この方は、1月18日に仕事のため来松し、19日に38度台の発熱や咽頭痛の症状がありました。同日、健康相談コールセンターに相談のうえ、市内の医療機関を受診し、民間検査機関でのPCR検査を行った結果、昨日20日に陽性が判明したものです。

医療機関から検査結果が陽性である旨連絡したときには、すでに県外に戻られていたため、昨日20日のうちに感染症法に基づき168例目の居所を管轄する他自治体に通報し、対応を引き継いでいます。

なお、市内の医療機関から感染者の発生届を受理したことから、本市の感染者として計上することとなります。

本市滞在中の行動歴について聞き取りを行ったところ、立寄先ではマスクの着用をはじめとする感染予防策を徹底していたことから、現時点では濃厚接触者はいないと考えています。

いずれの事案につきましても、今後の調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広の検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。